高知県立 高知城歴史博物館
Kochi Castle Museum of History

JOHAKU NEWS

Volume 11

企画展はじまる。

総合展示室1 知られざる城博コレクション

総合展示室2 第4期 末広がりでおめでたく

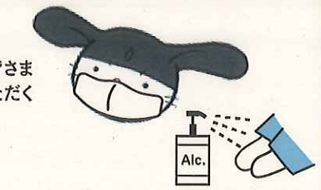
お正月イベント 第3期 大名家の年賀状

博物館に初もうで

ご来館の皆さまへ

当館は新型コロナウイルス感染対策を講じた上で開館しております。ご来館の皆さまには、マスクの着用、手指の消毒をお願いしております。また展示室をご利用いただく際には、検温および連絡先の記入へのご協力をお願いしております。
（万が一館内で新型コロナウイルスの感染が発生した場合に保健所等の公的機関に利用者情報を提供するため）

感染防止のため、ご理解とご協力を何卒お願いいたします。



展示室開室スケジュール

●令和2年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧頂けます。
●企画展の開催は12月まで中止しています。

3F	12月 26日(土)～31日(木)休館	令和3年 1月	2月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第3期特集「偉人の横顔」～12月14日(月)	12月25日(金) 第4期 大名家の年賀状	2月23日(火・祝)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	第4期 特集コーナー「末広がりでおめでたく」	～1月18日(月)	1月29日(金) 第5期 特集コーナー「発見！つるかめ」 3月29日(月)
企画展 特別展示室	休室	1月1日(金・祝) 知られざる城博コレクション	3月8日(月)

EVENT 12～1月

各イベントは新型コロナウイルス感染予防に取り組みながら開催します。ご参加の際は、マスクの着用や消毒、ソーシャルディスタンス等の基本的な予防にご協力ください。
今後の感染状況によっては、イベント内容の変更や中止となる場合があります。最新情報は当館のホームページをご覧いただくか、お電話にてお問い合わせください。

博物館に初もうで 1.2 SAT・3 SUN

高知へ帰省されるご家族も多いお正月。
城博では、大名の年賀状やおめでたい美術工芸品や干支の丑にちなんだ品々などお正月らしい展示で皆さまをお迎えいたします。また、お琴の弾初めに土佐の伝統「カツオの一本釣り」体験などご家族でお楽しみいただける企画をご用意します。
新年のはじまりは、お城下の博物館へおこしください！

すべて参加自由、事前のご予約は不要です。

高知県立大学箏曲部による新春弾初め

お正月の定番「春の海」などを演奏します。高知城の美しい景色と共に初春の調べをお楽しみください。
時間／各日11時30分～・13時30分～
※各回20分程度
演奏／高知県立大学箏曲部
会場　当館3Fロビー
参加費／展示室の観覧料が必要です（高校生以下と県内65歳以上の方は無料）
※詳細は下記をご覧ください。

新春 書初め体験コーナー

新年の抱負や好きな言葉などをしたためよう！どなたでもご参加できます。
時間／各日10時～12時、13時～15時
会場／当館1F実習室
参加費／無料

土佐の伝統「カツオ一本釣り」体験

土佐伝統の「カツオ一本釣り」！体験用の道具をつかってみんなで一本釣りを体験してみよう。一本釣りの映像も上映します。
時間　各日10時～12時、13時～15時
会場／体験・・・当館北ステージ
　　映像・・・当館1Fホール
参加費／無料
協力／高知カツオ県民会議

刀をさわってみよう！

漫画やアニメでも大人気の日本の刀。模造刀を使って刀の分解を体験しながら、刀の構造をご紹介します。
時間／11時～11時30分、14時～14時30分
対象／小学生以上
会場　当館1F和室
参加費／無料

新春 学芸員レクチャー「大名家の年賀状」

展示中の諸藩の大名たちの年賀状について、学芸員が分かりやすく見どころをご紹介します。
時間／1/3のみ10時30分～、13時～
※各回20分程度
会場／土佐史探索室
参加費／展示室の観覧料が必要です
（高校生以下と県内65歳以上の方は無料）
※詳細は下記をご覧ください。

門松づくりの実演会 12.20 SUN

職人による博物館に設置する門松作りの様子を公開します。
時間／13時30分～14時
講師　西野竹宏氏
会場／当館北ステージ
参加費／無料
（申込不要、当日ご自由にご参加ください。）

お正月の会 1.11 MON

博物館でお正月をお祝いする会です。邦楽の演奏をお楽しみください。
時間　13時～14時
演奏／菊由瀬会と郷山流尺八の皆さん
定員／30名（要事前申込）
参加費／500円

申込　電話、FAX、又はハガキにて、お名前、住所、電話番号を当館までお知らせください。

開館時間　9:00～18:00（日曜日は8:00～18:00）
※展示室への入室は閉館の30分前まで

休館日　年末　［12月26日～12月31日］
※展示室の休室スケジュールはホームページをご覧ください

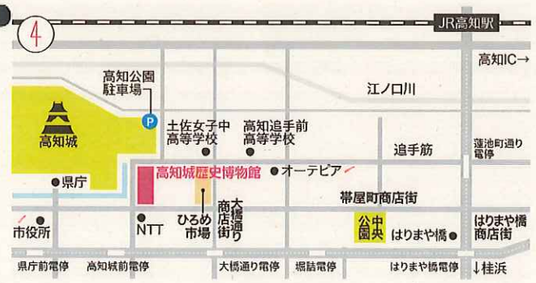
観覧料
◆500円（400円）　※（　）は団体20名以上の料金
◆企画展開催期間中 …… 700円（560円）
◆年間観覧券 …… 2,000円
◆高知城とのセット券（有効期限は当日限りです）
〈当館企画展開催期間中〉900円　〈その他の期間〉740円
◆高校生以下は無料

令和2年12月まで、企画展の開催を中止しております。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者（1名）は無料。
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。

無料期間　展示室1室のみ公開の期間は、観覧料無料
令和2年　12月15日（火）～12月24日（木）

交通アクセス
◆お車をご利用のお客さま
高知自動車道高知ICから約15分。
一般来館者用の駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。
※障害者用駐車場（2台）あり。
◆JRをご利用のお客さま
JR高知駅からとさでん交通路面電車（はりまや橋方面行き5分）
はりまや橋下車、乗り換え（鏡川橋または朝倉、または、いの方面行き5分）、高知城前下車、徒歩3分。



高知県立
高知城歴史博物館
〒780-0842　高知県高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619
高知城博　検索

友の会会員 情報会員 募集中！

発行日／令和2年（2020）12月●日　編集・発行／高知県立高知城歴史博物館

知られざる城博コレクション

Unknown, JOHAKU Collection

寄贈・寄託資料の世界

企画展再開

当館では一月から改めて企画展を再開します。その第一弾は当館のもう一つのコレクション－寄贈・寄託資料－をご紹介する展覧会です。現在当館が、県内外の皆さんからお譲り頂いたり、お預かりしたりしている土佐藩・高知県関連資料の多彩な魅力をお伝えします。

令和3年 1.1 金・祝 ▼ 3.8 月

古代塗のアイデア帳

土佐の名産「古代塗」。篆書をあしらった古雅な作風を特徴としますが、これはその第一人者のお家から発見されたいわば「ねた帳」。今まで読めなかった字がこれで判るかも！と調査担当者を狂喜させた資料です。

大空武左衛門の手形

土佐藩士の子孫のお家に伝わった1枚の紙。代々の経歴書や辞令、日記などの間からひらりと現われました。当時、江戸で大評判となっていた大男の手形をとらせてもらったものです。余白には、その時の様子、同僚との体格差を目の当たりにした驚き、「牛俣」というあだ名の由来などを聞いて書き留めています。威厳あふれるはずの武士が、うっかり全開にした好奇心がほほえましい資料です。

総合展示室1 土佐藩の歴史

＼総合展示に注目！／ 歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

総合展示室1では、5万点以上ある山内家伝来の古文書・歴史資料により土佐の歴史を紹介。模型やタッチパネルで高知城などお城に関する知識も紹介。

第4期 大名家の年賀状

12.25㊎～令和3年2.23㊋祝

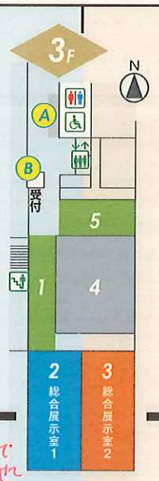
年の瀬の準備に欠かせない、年賀状。しかし江戸時代の人達にとって年賀状は、年が明けてから書くものでした。そして普段の手紙は祐筆（書記官）任せの大名達も、この時ばかりは自ら筆を取ります。

山内家資料にも、自筆の年賀状が数々伝わっています。今期の特集では、その中から数点を選んでご紹介します。達筆で個性のにじみ出た年賀状を見比べながら、展示室でよい新年をお迎えください。

薩摩藩主島津重豪（号 栄翁）年賀状　江戸時代後期

89歳まで生きた、ご長寿藩主から山内家に届いた年賀状。子孫も多く、孫娘の一人が13代藩主豊潮の正室です。

丑年の人ゆかりの資料も展示　令和3年(2021)の干支は丑。丑年生まれの土佐藩主、6代山内豊隆・11代豊興ゆかりの資料や、土佐藩の正月行事にまつわる資料もご紹介します。



1.導入展示室
2.総合展示室1
3.総合展示室2
4.特別展示室 ※年内休室
5.土佐史探索室
A.体験コーナー ※休止中
B.音声ガイド用タブレット ※貸出休止中（お手持ちのスマートフォンで利用可能）

総合展示室2 大名道具と土佐の文化

総合展示室2では、土佐藩主山内家に伝わった甲冑や刀剣、能面などの大名道具を展示。また、土佐の学者や文人の著作・書画を通して近世土佐の文化を紹介。

第4期 末広がりでおめでたく

11.13㊎～令和3年1.18㊊

1000年以上の歴史を持つ扇。現代でも手軽に涼をとれる道具として親しみがある一方で、礼装の際や茶席・演能などで用いられることから、なにか神聖な、道具以上の存在であることも感じさせます。また要から先に向かって広がるその姿は「末広がり」と呼ばれ、繁栄を表す縁起物として、贈り物に用いられたり、扇の形が文様化されて着物、食器など様々な日用品にあしらわれてもいます。

そんな扇のさまざまなありようを、山内家伝来の資料を通してご紹介します。

日月図軍扇

武将が戦陣に携帯した扇を軍扇といいます。武将の地位を示し、戦を指揮する道具として用いられました。大ぶりで頑丈に作られています。

雪舟猫図中啓

扇の骨がくの字型になっていて閉じた状態でも少し先が広がっているタイプの扇を「中啓」といいます。表に雪猫、裏に山水が描かれたこの中啓は、能で用いられるもの。

名品逸品

山内家資料の古文書をはじめとする歴史資料や歴代藩主のお道具など、6万7千点の土佐藩主山内家資料の中から、学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介。

新政府軍の象徴「錦旗」

錦旗　年代／（慶応4年（1868）1月）　寸法（㎝）／縦351　横66

この「錦旗」（世に言う錦の御旗）は、戊辰戦争の際に朝廷より土佐藩に下賜されたもので、赤地に牡丹唐草模様、上部に金色の菊花紋を据えています。新政府軍が「錦旗」を掲げたことで、日和見的な態度をとっていた諸藩を一気に新政府側に引き寄せたことは有名です。

さて、戦局を左右するこの大事な「錦旗」を、土佐藩は外国人に一時奪われてしまったという驚きのエピソードをご存知でしょうか？

慶応4年（1868）1月11日に「錦旗」を拝領した土佐藩は、大目付の本山只一郎等（全11名）に「錦旗」を守護して土佐に届けることを命じます（京都出発が同13日）。

しかし、この道中で事件が発生。当時、※神戸事件によって外国人に占拠されていた神戸で、「錦旗」を運んでいた2名が外国人兵に連行されてしまいます。ふたりは、貴重品をその場に置いてきたことを説明して現場に戻りますが、「錦旗」を入れていた箱を開けてみると、なんと!! 中身がなくなっていたのです（フランス兵が持ち去り）。ふたりが慌てふためいたことは想像に難くなく、切腹も覚悟したでしょうが、ほどなくアメリカ側の仲介でなんとか無事に戻ってきました。その後、一行は四国に渡り丸亀付近で迅衝隊（土佐藩兵）に「錦旗」を届けました（同19日）。

展示室でこれらの経緯を記した古文書とともに「錦旗」をみると、当時の人々のこの旗をめぐるさまざまな想いが伝わってきますよ。

（学芸課　学芸員　高木翔太）

※**神戸事件**とは、慶応4年1月11日に神戸において、備前藩兵が行列を横切ったフランス人水兵2名を斬りつけたため、駐留していたフランス・イギリス・アメリカと銃撃戦にまで発展した事件。備前藩が撤退した後は神戸が占拠され、明治政府初の外交問題となり、備前藩隊の責任者であった滝善三郎が切腹して一応の解決をみた。

空白のスペースが気になるかも。

調査・研究

寄贈・寄託資料の調査

わたしたち博物館の最も基本的な仕事は、さまざまな"モノ"を集め、そこから人々の営みや歴史をよみとくこと、未来へと伝え残していくことです。こうした"モノ"の集まりは"コレクション"と呼ばれます。城博のコレクションは、土佐藩主山内家に伝わった6万7千点を核とし、総合展示ではそれらのエッセンスを年間を通してご紹介しています。

当館のもう一つのコレクションが「寄贈・寄託資料」です。県内外の皆さんからお譲り頂いたり、お預かりしたりしている土佐藩・高知県関連の資料は約1万3千件にのぼります。

初めてみたときには、途方に暮れるほどの大きな古い"モノ"のかたまりであったものが、調査をすすめるにつれ、厚さ10cmを超える大福帳、向こうが透けて見えるほどの薄い紙に写し取られた名画、日々の暮らしをつづった日記、災害の記録として一つ一つ意味をなし始め、私達に語りかけ始めます。次回企画展ではこれら寄贈・寄託資料の多彩な魅力をお伝えすると共に、わたしたちがどのようにしてこれらを読み解いてきたか、そしてそこから見えてきたものについてお伝えする予定です。

学芸課　学芸員　尾本師子

地域連携

新刊のお知らせ

地域の歴史を紹介する小冊子『地域記録集 土佐の村々』をご存じでしょうか。

江戸時代、土佐藩には1,000を超える村々がありました。それらの多くは現在の「集落」や「地区」と重なります。これを単位として、住民や出身者が実感を持つことができる細やかな歴史の記録を目指し編集しているのが「地域記録集」です。これまで県内3集落分の冊子を刊行していますが、今年度新たに第4号を発刊することになりました。

過疎化が進む高知県では、人口がゼロとなった地域、いわゆる「廃村」が増加しています。新刊では、廃村の危機に瀕する或る「村」の歴史と、そこで暮らした人々の今の声をお届けする予定です。

地域の人々と一緒に調査・編集中ですので、発刊までもう少しお待ちください。

企画課　企画員（地域連携）　筒井聡史

※新刊の発行時期や対象地域などの詳細については、今後ホームページなどでお知らせします。
※既刊は当館にて無料配布しています。またホームページからダウンロードもできます。

文字の色が見にくいかもとの意見あり。

やまぴょんとわか #03 かぶとの数だけ前立

兜には飾りを付けられるように金具が用意されていることがあり、場所によって「前立」「脇立」「後立」と呼びます。やまぴょんのかぶっている兎耳形兜にあるのは前立飾り。後立用の金具がないので、わかの願いは叶いませんが、「丑」だけなら（やまぴょんが許せば）可能です。

やまぴょんは城博のキャラクター。
兎耳形兜は4代土佐藩主・山内豊昌様にもらいました。
わかと一緒に土佐の歴史や文化、山内家資料のことを勉強しています。